

工事管理システム 簡易マニュアル



「工事管理」機能システム

【工事管理】とは？

作成した工事データをクラウド上で管理する機能です。

インターネット環境が整っているパソコンであれば、各支店間など離れた拠点同士はもちろん、新型コロナウイルス感染症対策として推奨されているリモートワーク時にも、前日まで会社で作成していた工事データを自宅で引き続き編集できます。

また近年多発している地震や水害などの自然災害に対しても、クラウド上へのデータ保存により大切な工事データを守る事ができます。

【「工事管理」を利用する前の事前準備】

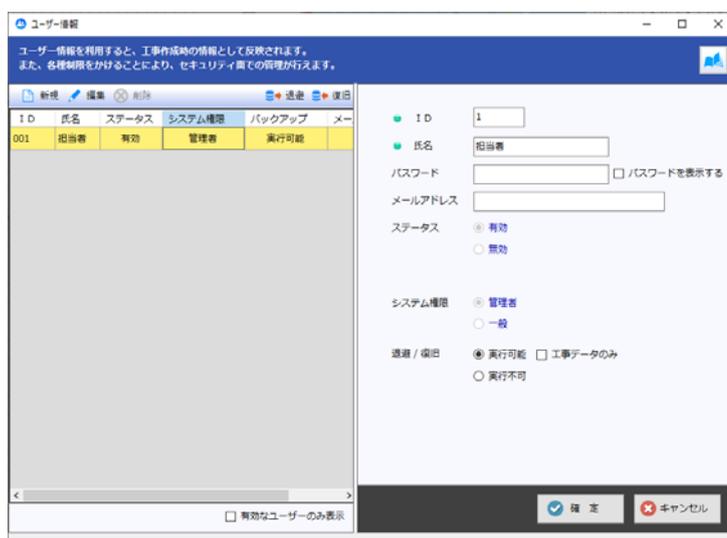
クラウド上の工事管理に工事データを更新するには、誰の工事データであるかを認識させる必要があります。その誰であるかを認識させる為にはユーザーIDの登録が必要です。

複数人で工事管理を利用する時の注意点をご確認ください。P7

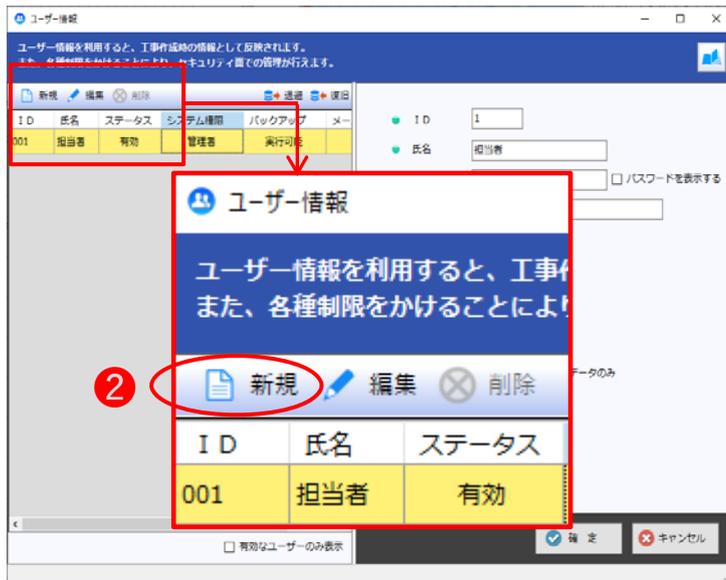
➤ ユーザーIDの登録方法について



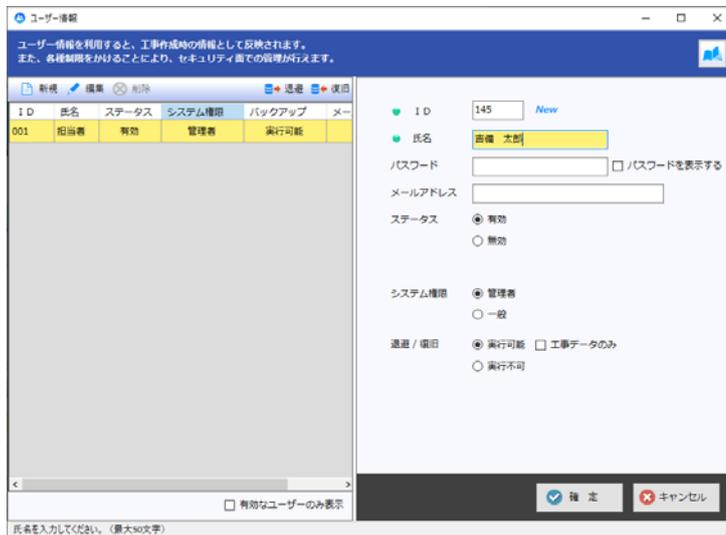
- ① メビウス R システムの起動画面より①のユーザー情報アイコンをクリックして下さい。



- ② 「ユーザー情報」画面が表示されます。初期値として 001：担当者が管理者として登録されています。

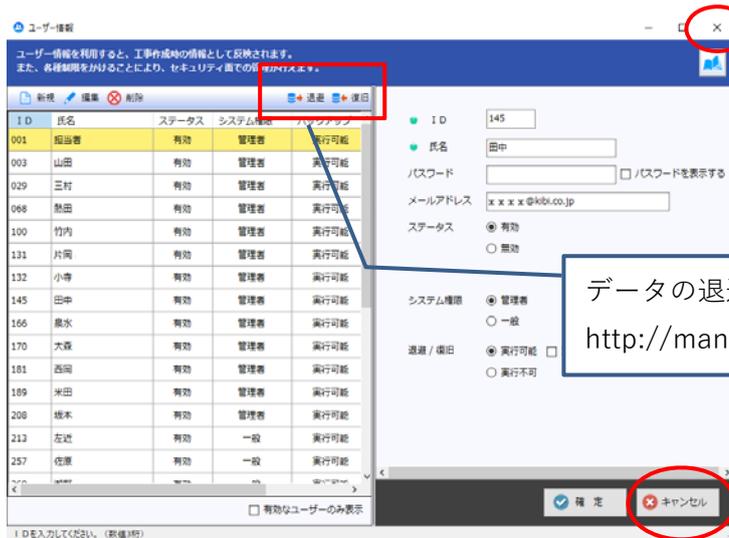


③ ②の**新規**をクリックして下さい。



④ ID (数値3桁)、氏名を入力して下さい。社員番号等を利用し、他の方と重複しない番号でご登録下さい。

設定項目	説明
ID	必須入力項目です。 1～999の数値で入力して下さい。 ※インストール直後の初回起動時はID：001のユーザーとしてログインされます。
氏名	必須入力項目です。
パスワード	任意入力項目です。 ※システム起動時にログイン認証を行う設定になっている場合、登録したパスワードの入力が求められます。 ※パスワードを表示するにチェックを付けると、登録済みのパスワードが表示されます。
メールアドレス	任意入力項目です。
ステータス	登録ユーザー情報の有効／無効を設定します。
システム権限	登録ユーザーの権限として、管理者／一般を設定します。 ※一般のユーザーで利用中の場合、制限設定されている工事データについては編集できない場合があります。 ※一般のユーザーで利用中の場合、自身のユーザー情報しか編集できません。 ※一般のユーザーで利用中の場合、編集できる項目は、氏名／パスワード／メールアドレスのみに限られます。
退避／復旧	登録ユーザーが、工事データ／独自データの退避／復旧を行う権限を設定します。



⑤ 管理者が一括登録を行い、各担当者データを配布する事も可能です。
 登録が完了しましたら**キャンセル**又は画面右上の**X**で画面を終了して下さい。



⑥ 作成した ID でログインを行います。
 ③の青字箇所をクリックして下さい。



⑦ 「システムログイン」画面が表示されます。
 ID、パスワード(設定された場合)を入力し、ログインをクリックして下さい。



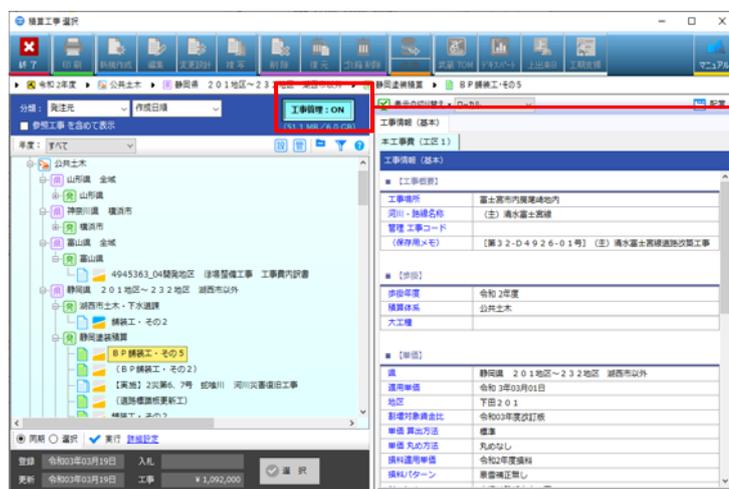
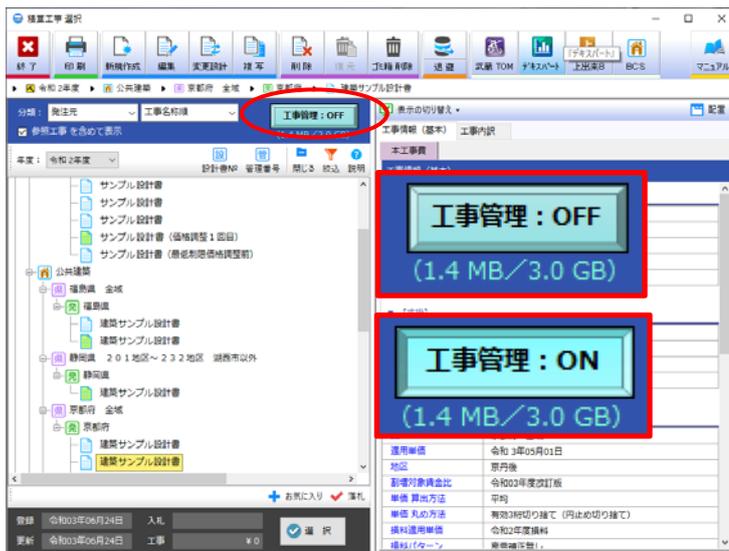
⑧ 登録した名前で表示されます。一度ログインしますと、次回も同じ ID で起動されます。

➤ 工事管理の利用方法について

① メビウス R システムを起動し、工事一覧画面より【工事管理】をクリックする事で、工事管理画面の切り替えを行います。

【工事管理：OFF】 >> 通常の工事選択画面モードです。

【工事管理：ON】 >> 工事管理画面が表示されています。クラウド上と比較した画面です。



→ 工事管理が ON（工事管理モード状態）になっている時は、画面背景色が水色で表示されます。

※ 工事管理が ON の時は、比較一覧画面となるので、工事を起動する事は出来ません。



工事制限容量に対しての現在使用している工事容量を表示しています。

1.4MB（左側…現在クラウドにアップしている合計工事容量）

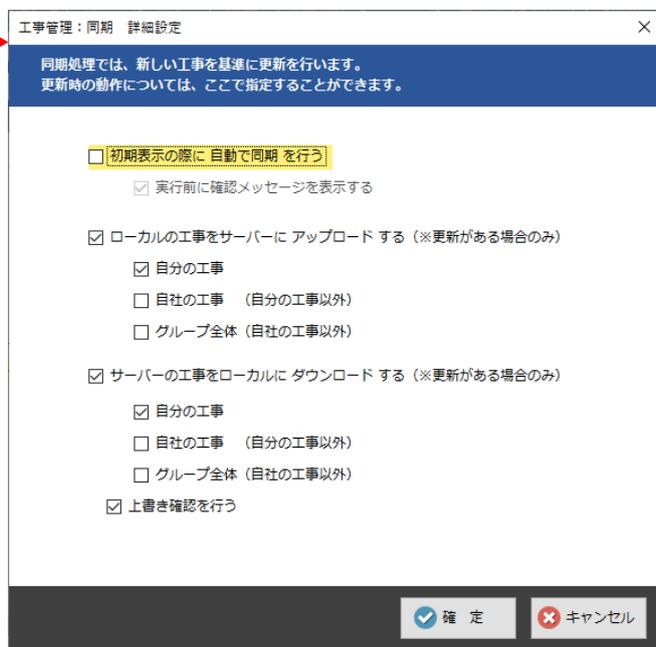
3.0GB（右側…工事管理で利用できる最大工事容量）

● 表示されているアイコン説明

	工事データがクラウド上のみ存在し、自分自身のパソコン上には存在しない工事
	工事データが自分自身のパソコン上のみ存在し、クラウド上には存在しない工事
	クラウド上と自分自身のパソコン上に同じ工事が存在しており、かつ更新日付が同じ状態
	クラウド上と自分自身のパソコン上に同じ工事データが存在しているが、クラウド上の更新日付が新しい状態
	クラウド上と自分自身のパソコン上に同じ工事データが存在しているが、自分自身の更新日付が新しい状態
	工事データがクラウド上に存在し、自分自身のパソコン上にはメビウスのごみ箱の中に存在している工事

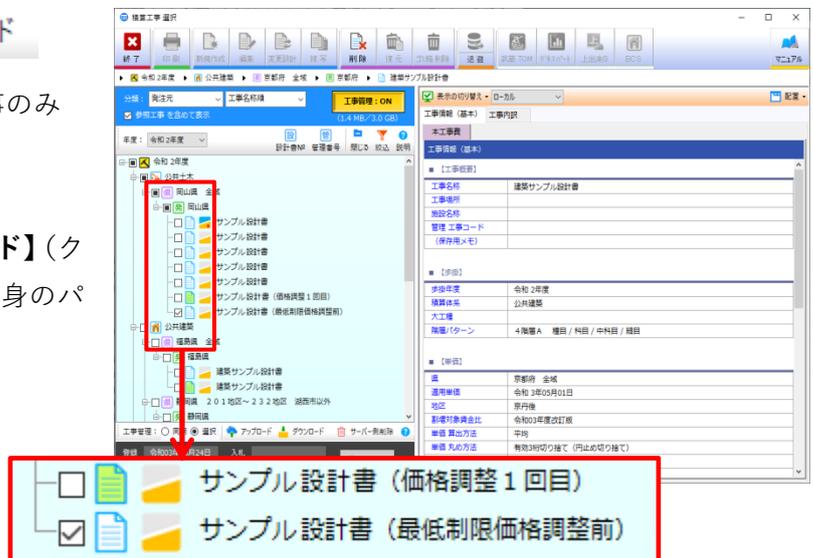


- **同期**…詳細設定の内容に応じて**全ての工事**のチェックを行い、同期処理（更新処理）を行います。



- **選択**…工事一覧でチェック付けた工事のみ更新処理を行います。

該当工事にチェックを入れて、【アップロード】（クラウド上へ保存）、【ダウンロード】（自分自身のパソコンへ保存）をクリックして下さい。

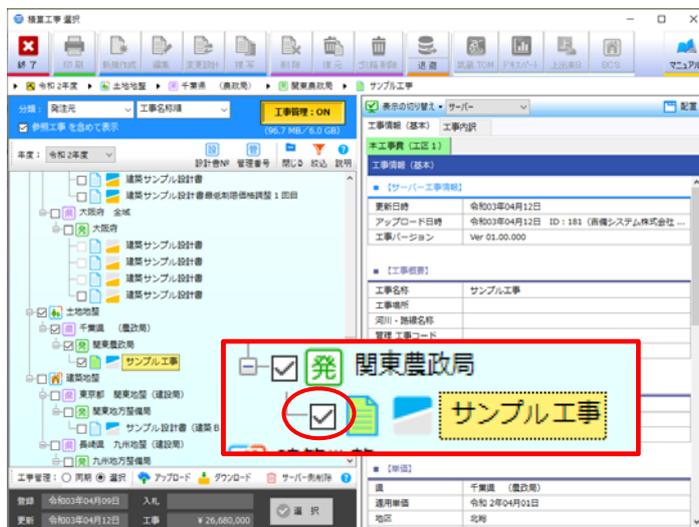
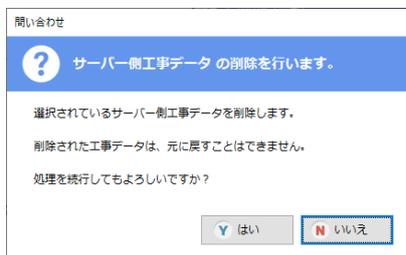


➤ サーバー上の工事を削除したい場合

○ 同期 ● 選択  アップロード  ダウンロード

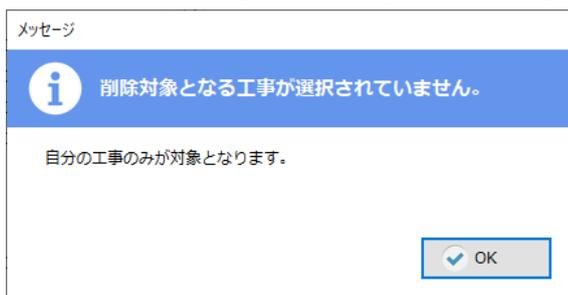
 サーバー側削除

選択にチェックを付け、該当工事をツリーより選択し、【サーバー側削除】をクリックして下さい。



※ 一度削除すると元に戻す事はできませんのでご注意ください。

※ 自分が作成した工事以外は削除出来ません。



※ 複数人で工事管理を利用する時の注意点

▶ ユーザー情報を登録して利用する必要があります。

工事管理は全てユーザー情報IDで管理されます。

違う担当者が同じユーザー情報IDで工事を作成した場合、実際の工事内容は違いますが、工事管理サーバー内では同じユーザー、同じ工事番号と判断し、工事管理を行う為注意が必要です。

ユーザー情報管理方法は下記をご確認ください！

<http://manual.r.moobius.jp/cnst/basic/othr00-08.html>

○ ユーザー情報管理をしている場合

ユーザーID : 2 名前 : 担当者A



吉備太郎



岡山県
河川工事

工事管理サーバー

ユーザーID : 3 名前 : 担当者B



吉備花子



東京都
舗装工事

【工事管理で管理されている工事データ】

- ・ 002(担当者ID)-001(工事番号)
- ・ 003(担当者ID)-001(工事番号)

} 違う工事として管理

吉備太郎がインストール後、新規で工事を作成
内部で管理する工事番号は002(担当者ID)-001(工事番号)

吉備花子がインストール後、新規で工事を作成
内部で管理する工事番号は003(担当者ID)-001(工事番号)

× ユーザー情報管理をしていない場合

吉備花子が最後に工事管理へアップロードしている場合、吉備太郎がダウンロード、上書き処理すると東京都の舗装工事になります。

ユーザーID : 1 名前 : 担当者



吉備太郎



岡山県
河川工事

工事管理サーバー

工事名称は各々で作成した工事名を表示



吉備花子



東京都
舗装工事

【工事管理で管理されている工事データ】

- ・ 001(担当者ID)-001(工事番号)

同じ工事として管理されます
担当者が更新する度に上書きされます。

ユーザーID : 1 名前 : 担当者

吉備太郎がインストール後、新規で工事を作成
内部で管理する工事番号は001(担当者ID)-001(工事番号)

吉備花子がインストール後、新規で工事を作成
内部で管理する工事番号は001(担当者ID)-001(工事番号)